



# びっきー

第16号

## 【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく  
生きる生徒の育成

## 10月全校朝会

10月2日(水)の全校朝会で話をした内容です。

先週は、どの学級も合唱コンクールに向けて学級で団結して取り組んでくれ、素晴らしい感動的な合唱を披露してくれました。中でも、3年生の同点金賞という結果とともに、また、後輩たちによりよいものを残してくれことを嬉しく思います。一生懸命に取り組む姿勢は、見る人たちにも感動を与えます。

さて、今日から10月になりました。本年度の半分が過ぎ、丁度折り返し地点です。この半年間で、自分をどれだけ成長させられましたか？何ができるようになりましたか？

ところで、10月は英語で何と言いますか？・・「October」。和風月明（睦月・如月・・という旧暦の呼び方）で何と言いますか・・「神無月」。なぜ、「神無月」と言うか知っている人もいるかと思いますが、1つの説に、全国の神様の多くが、毎年10月に島根県にある出雲大社に集まるので、各地の神々が留守になってしまうため、10月は各地に神様がいないので「神無月」、反対に出雲の国では神様がたくさん集まっているため、「神在月」と呼ばれているそうです。

10月は猛暑が過ぎ、台風シーズンでもあります、過ごしやすい季節になります。勉強に、スポーツに、芸術活動にしっかりと取り組める時期です。

今日は、イソップ物語の「酸っぱいブドウ」の話をします。この物語を知っている人はいますか？話をしたら思い出す人もいると思います。

ある日、おなかを空かせた一匹のキツネが森を歩いていると、おいしそうなブドウが垂れているところに通りかかりました。キツネは、どうにかしてブドウを取ろうと、手を伸ばしてみましたが、どうしても取るできません。このキツネは、どうしたと思いますか？あなたならどうしますか？

しばらくしてブドウが自分のものにはならないことを思い知ったキツネは、「ふん、あんなブドウおいしくないや。まだ、すっぱくて食べられやしない。」ブドウをにらみつけると、手に入れるのをあきらめて、その場を去って行ってしまったという話です。

このキツネは、本当は、単に自分の力が及ばず、手が届かなかったために、ブドウを食べることができなかつたにも関わらず、それも、どうせ取ったとしても、すっぱいに決まっているからと自分に言い聞かせて、自分に都合がよいように正当化して、なんとかして取ろうとする努力をやめてしまったのです。

このような言動を「合理化」といいます。

合理化は能率を上げるために無駄を省くことなどにも使いますが、少し難しいかも知れませんが、合理化は、心理学でいうと、この物語のキツネのように、「どうせあのブドウはまだ熟していない酸っぱいブドウだったに違いない。だから自分の手が届かな

かったんだ。」という屁理屈を持ち出すことによって、自分の都合のいいように、不合理な言い訳をするこのキツネの姿を意味していると思ってください。

つまり、『イソップ物語』における「酸っぱいブドウ」の話は、擬人化されたキツネの姿を通して、満たされなかった欲求に対して、自分の行動を正当化するために言い訳し、自分にとって不都合な事実を覆い隠してしまおうとする「合理化」を物語ったものだと思います。

君たちの身の回りに例えると、部活動で試合に負けたら、「あいつらが強すぎるから仕方がない。」

テストで思うような点数が取れなかったら、自分の努力はさておき「どうせ勉強しても、こんな難しい問題を出されたらできなくて当然だ。」とっておしまいにしてしまう。

勉強しなくてはと思いつつも、「今日はゲームをやりすぎた。明日からちゃんとがんばるからいいや。」とずっと先延ばしにしたりしてしまったりしてしまう行動です。

それでは、ただの負け惜しみになってしまいます。

手に入りたいものがあつたら、たとえそれがすぐに手が届かないものでも、努力を積み重ね、全力で手に入れようとする、私はそういう人であってほしいと願っています。

3年生は、もうじき進路を決定しなければなりません。全力であなただけのブドウをつかみ取ってください。苦労して手に入れたブドウは、とびっきり甘いに違いないと思います。現在、3年生の中に、思うように成績が伸びず、自分にはもう無理だと進路変更を考えている人もいるかも知りません。本当に無理ですか？自分が努力しなくて、あきらめて逃げているのではないでしょうね？

学校教育目標『自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成』の「たくましく」は多少のことではあきらめないという意味や願いを込めています。

「酸っぱいブドウ」の「きつね」は「あなた」ではないでしょうね？もう一度自分を振り返ってもらいたいと思い、今日は「酸っぱいブドウ」の話をしました。

## 2年親子ふれあい行事

10月5日(土)2年生の学年育友会行事の「親子ふれあいドッジボール大会」が開催されました。クラス対抗で争い、ハート型の柔からいボールで、前半はボール1個、後半にはボール2個になり、特に後半戦は盛り上がっていました。学年委員、学級委員の皆さま企画から準備等ありがとうございました。

挨拶で、ミッションということで10人の保護者と(保護者は生徒と)対話することと言いましたが、実践できたでしょうか？

